

日ごとに秋も深まり、木々も紅葉する季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか？朝晩は冷え込む日もありますので、風邪など引かれませぬよう、ご留意下さい。



## 医学教育分野別評価の受審が行われました。

医学教育センター長

白澤文吾

10月28日(月)～11月1日(金)に医学教育分野別評価を受審しました。日本医学教育評価機構(JACME)から派遣された7名の評価員と2名の事務の方が来学され、開会式、全体説明の後、領域1の領域別検討会議が始まりました。領域別検討会議の冒頭で領域の概要を説明する5分間のプレゼンテーションが行われ、自己点検評価報告書に基づいて、質疑応答に入りました。領域長をはじめ、領域担当教員が様々な質問に対する説明を行いました。1日あたり2つ～3つの領域別検討会議が1～2時間行われ、計9領域の領域別検討会議が行われました。それに並行して、施設(医学部図書館、SMACラボ、クリニカルスキルアップセンター、国試対策用の自習室)見学、臨床実習(第3内科、泌尿器科、先進救急医療センター)見学、講義(統合薬理学、法医学)見学、実習(臨床実技基本実習、病原生物学実習)見学、研究室(分子細胞生理学講座、医化学講座、神経解剖学講座)見学、さらに1、2年目の研修医面談、1年生～6年生を対象とした学生面談、教養系、基礎系、臨床系の教員面談も行われました。分刻みの非常にタイトなスケジュールでしたが、予定通り進行し、全ての実地調査を終え、最終日には、評価員による講評を頂きました。本学の医学教育分野別評価として、高く評価された点とともに改善すべき点もご提示して頂きました。高く評価された点は、今後も引き続き、継続していき、また、改善すべき点は、改善していきたいと思ひます。講評および閉会式には、多くの教職員、学生の皆さんが参加し、盛会のうちに終了しました。領域1～9の領域別検討会議をはじめ、施設見学、臨床実習見学、講義見学、実習見学、研究室見学、さらに研修医面談、学生面談、教員面談をご担当の皆様方には、お忙しい中、ご協力頂き、誠に有難うございました。この受審を機に、本学の医学教育を見直し、より一層充実した医学教育を展開していきたいと思ひますので、今後とも皆様のご協力を宜しくお願い致します。



## 宇部高校の生徒が研究室を訪問しました。

スーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定されている宇部高校の生徒を対象とした研究開発活動の推進の一環として、10月15日(火)、10月17日(木)に本学において参加体験学習が開催されました。医学科の8つの講座(神経解剖学、分子細胞生理学、神経生理学、薬理学、病理形態学、分子病理学、システムバイオインフォマティクス、医学教育学)に宇部高校の生徒(計17名)が訪問し、「自己開発コースへの参加体験」という授業テーマで、基礎医学実験を見学・体験しました。高校生の皆さんは、実験を見学・体験するのは初めてで、最初は慣れない様子もありましたが、徐々に慣れ、興味を持って取り組んでいました。また、自己開発コースの学生ともコミュニケーションを積極的にとり、医学部を身近に感じる事ができた様子でした。今回の本医学部での参加体験学習が参加した皆さんの今後の進路決定の一助になればと思います。



## 臨床実習前OSCEの説明会が行われました。

11月16日(土)に共用試験OSCEが4年生を対象に行われますが、それに先立って学生、模擬患者・運営補助者の皆さん、内部評価者に事前説明を行いました。当日は、身体診察(神経診察、腹部診察、頭頸部診察、胸部・バイタルサイン、手技・救急)と医療面接が行われます。来年の1月末から始まる臨床実習前の大切な試験ですので、学生の皆さんは十分に体調を整えて、試験に臨んでほしいと思います。



ご意見・ご要望等につきましては、医学教育センターへ  
お願いします。 TEL: 0836-85-3747

E-mail: mec01@yamaguchi-u.ac.jp